

## 平成18年度 第1回北名古屋市男女共同参画審議会 結果概要

1 日時 平成18年6月13日(火) 午前10時～11時5分

2 会場 北名古屋市役所(西庁舎) 4階 第4会議室

3 出席者 20人

<委員14人(欠席1人)・市長・事務局:教育長以下5人>

4 傍聴者 なし

5 議題等

- (1) 委嘱状交付
- (2) 市長あいさつ
- (3) 自己紹介
- (4) 北名古屋市男女共同参画推進条例について
- (5) 会長、副会長の選出
- (6) 平成18年度男女共同参画行政の推進について
- (7) 部会員の指名
- (8) その他

6 会議概要

- (1) 会長、副会長の選出

委員の互選により会長、副会長が選出された。

- (2) 平成18年度男女共同参画行政の推進について

資料に基づき事務局説明及び研修等への派遣委員の協議を依頼

○委員協議・抱負など

<委員>

(大学教授の立場から) 市民意識調査に大学生の声を反映できないか。

<事務局>

市民2,000件とは別に実施する方向で検討。

<委員>

女性の会が「モモタロー・ノー・リターン」寸劇のビデオ作製を文部科学省より事業委託された。是非、小中学校でも上演し参画意識を高めたい。

<委員>

(男女共同参画推進活動団体) さんか・クラブで様々な事業を計画している。ま

た、日本女性会議へもクラブから参加し、見識を深めたいと考えている。

<委員>

子育て世代でもあり、現場の立場から意見を出していきたい。

<委員>

DVや子どもの権利侵害など双方向で関わっていきたい。

<委員>

情報誌の内容を充実させるため積極的に関与したい。また、女性会館のような施設ができたらいと思う。

<委員>

子育てが一段落して今後の人生を考えると、女性の自立が男性も暮らしやすい社会を作っていくと信じている。

<委員>

学校PTAでも会長は男性でその他委員は女性という構成になっている。

<会長>

会合を夜に行うなど検討はされているか。

<委員>

子どもを一人で留守番させる役員も出てくると思われる。

<委員>

土曜日の午前中に行う学校もある。

<委員>

男女は平等であると思っているが、家庭では妻が強い。熟年離婚などの問題はどのように考えればいいのか。外国の子育ては家庭教育がしっかりしている。家族を考えると、諸外国の現状も参考になると思っている。

<委員>

おやじの会組織とは。また、拠点施設の整備についての考え方は。

<事務局>

おやじの会は各小学校及び2中学校の地域・単位で委託（補助）している。拠点施設の新規建設は財政面から困難と考えるが、議会はじめ多方面から応援いただきたいと考えている。

<委員>

男女共同参画を考えると、男性が今まで家庭に関与できなかった結果、家庭の

中では女性が強くなってしまった。しかし、社会はその逆である。このアンバランス是正が求められている。

国の男女共同参画行動計画も第2次が示された。一地方自治体が行える事は限られているが、それぞれ努力が求められる。

行政が模範を示して女性の登用率を高める義務がある。市役所は率先して子育て中の職員に育児のための休暇取得を与えていただきたいし、そのための世代間カバーも検討していただきたい。

○国立女性教育会館主催の「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」へ塚崎委員を派遣

○「日本女性会議2006しものせき」派遣委員は後日事務局で調整する。

### (3) 部会員の指名

平成19年度に策定を予定する「(仮称)北名古屋市男女共同参画プラン」のための意識調査を協議するため、4人の部会員を会長が指名した。

### (4) その他

事務連絡 次回会議は12月頃を予定